

地域密着型金融の取り組みについて (令和4年度)

佐賀西信用組合

項目	具体的な取り組み	スケジュール	進捗状況	備考(計画の詳細)
		令和4年度	令和4年4月～令和5年3月	
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化				
(1) 事業再生支援	①佐賀県中小企業活性化協議会等の外部機関及び専門家と連携し、事業再生支援に積極的に取組む。 ②支援業務の能力向上のため、外部研修及び各種セミナーに積極的に参加する。	①佐賀県信用保証協会の専門家派遣事業で3社支援予定。 ②佐賀県中小企業活性化協議会・佐賀県信用保証協会・商工会議所・商工会・佐賀県中小企業診断協会等と連携を密にし、事業再生支援に取組む。	<事業再生支援取組> ・中小企業活性化協議会 6先 ・保証協会専門家派遣事業 8先	<令和4年度新規申込> ・中小企業活性化協議会 1先 業種: 建材販売・管工事
(2) 創業・新事業支援	①日本政策金融公庫と協調し、創業・新事業の支援を行う。 ②三者連携協定等の外部との連携による支援を行う。 ③商工会議所・商工会と連絡を密にし、各種補助金及び専門家派遣等を有効活用する。 ④創業・新事業の外部研修へ参加し、能力の向上を図る。	①日本政策金融公庫との協調し、「協調融資商品: 夢創る」[資本性ローン]等を活用し創業、新事業支援に取組む。 ②三者連携協定等の創業・新事業関係の定期的な会議へ出席し、情報収集と公的制度の有効活用を紹介する。 ③創業・新事業の外部研修に参加し職員の知識向上を図り、創業・新事業を積極的に支援する。	創業支援先として5先取組んだ。 ・三者連携協定推進会議へ出席。 令和4年度の出席回数6回(5月・6月・9月・10月・12月3月)	<令和4年度中の創業支援資金貸出> ・貸出先数5先 貸出金額合計56百万円 飲食業 3先 飲食(宅配事業) 1先 自動車整備販売 1先
(3) 経営改善支援	①経営改善支援取組先(30先)に対し定期的にモニタリングを行い、業況と課題点を把握して的確な支援を行う。 ②外部研修へ職員を派遣して能力の向上を図り、レベルの高い経営改善支援に取組む。 ③佐賀県信用保証協会・佐賀県中小企業診断協会等の外部機関と連携し、経営改善計画書策定等の支援に取組む。	①経営改善支援取組先には役員も訪問して、訪問記録を2ヶ月に1回本部へ提出し、本部と営業店が情報を共有することで、一体となった経営改善支援を行う。 ②外部研修、各種セミナーへ職員を派遣して能力の向上を図り、取引先企業への支援を的確に行う。	経営改善支援取組先30先(各店3先×10店舗)について、ランクアップに向けた支援の進捗状況を2ヶ月毎に本部で取りまとめ、営業店と本部が取引先の状況を共有し支援を行った。 <外部研修への職員派遣> ・4月12日 事業者支援態勢の構築に向けた説明会に1名派遣した。 ・5月31日 事業再生シンポジウム(WEB・1名)	
(4) 事業承継	①佐賀県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、事業承継支援を行う。 ②外部研修への参加及び内部研修により知識の向上を図り、事業承継に精通した人材を育成する。	①佐賀県の事業承継円滑化支援事業(見える化支援)で1社支援予定。また、同支援事業の知的資産経営報告書作成の個別勉強会へ職員を派遣し、事業承継に係る対応能力の向上を図る。	・12月21日 佐賀県事業承継・引継ぎ支援センター主催の支援ネットワーク会議へ1名派遣。 ・3月22日 佐賀県主催の支援担当者会議(WEB・1名)	
(5) 人材の育成	①外部研修、各種セミナーへ職員を派遣し、知識の向上を図る。 ②内部研修を実施し、能力の向上を図る。 ③各種検定試験の合格及び外部資格取得を奨励する。	①九州信用組合協会主催の研修へ職員を派遣し、知識の向上を図る。 ②外部講師による内部研修を実施し、知識の向上を図る。	・5月10日 女性職員2年目研修に4名派遣。 ・8月9日 3月8日 知財支援会議に1名派遣。 ・10月7日 中堅女性職員研修(WEB・3名) ・11月8日 高齢者取引・相続トラブル対応実務講座(WEB・4名) ・11月16日 全国保証協より講師を招き住宅ローンの内部勉強会を実施(参加者9名) ・12月8日～9日 債権管理回収講座へ4名派遣。 ・2月22日 佐賀県信用保証協会より講師を招き保証制度の内部研修を実施(参加者11名)	
2. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底				
(1) 担保、保証に過度に依存しない融資	①融資渉外能力及び審査能力の向上を図る。 ②小口多数主義に徹し、過度に担保・保証に依存しない融資を推進する。 ③経営者保証に適切に対応するための態勢整備に努める。	①知識の向上を図るため、外部研修に職員を派遣する。 ②キャッシュフローを重視し、過度に担保・保証人に依存しない融資に取り組む。 ③経営者保証に関するガイドラインに基づき、誠実に対応し、取引先との継続的かつ適切な信頼関係の構築・強化に努める。	・8月4日～5日 事業性評価力養成講座(WEB・2名) ・事業成長担保制度説明会(WEB・1名・11月・3月) ・事業成長担保制度意見交換会(WEB・1名・12月・3月)	
(2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底	①プロパー資金及び信用保証制度を有効活用する。 ②取引先の資金ニーズに適切に対応するため、他金融機関との協調融資等を活用する。	①取引先のニーズを正確に把握し、営業店と本部が連携して対応する。 ②ニーズに対し迅速で細やかな対応に徹する。	・12月16日 中小企業支援ネットワーク会議に1名派遣。	
(3) 協同組織中央機関との連携	①上部団体である全国信用組合中央協会等との連携を密にする。	①企業再生スキーム等知識の習得を図るため、上部団体主催の研修に積極的に参加する。	・1月25日 全国信用組合中央協会主催「広報担当責任者会議」(WEB1名)	
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献				
(1) 地域経済への積極的な支援	①地域経済の活性化に向けて積極的な役割を果たす。 ②外部機関との連携を図る。	①商工会議所・商工会等と連携し、商店街の活性化を図る。 ②助成金・補助金等の公的な支援の紹介を行う。 ③地域行事に積極的に参加し、地域の活性化を図る。	・鹿島市誕生プレゼント事業で、鹿島市で出生届を提出する人へ記念品制作費用として50万円を鹿島市へ寄付し費用を負担。 ・10月30日 鹿島市ラムサールの「ガタピカ清掃活動」へ参加(5名) ・鹿島市ラムサール会議に参加(9月・11月12月) ・3月25日～26日 鹿島酒蔵ツーリズムにボランティア参加。	
(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供	①「お客様アンケート調査」を実施して顧客のニーズを的確に把握し、業務の改善と、地域活性化につながるサービスの提供を図る。	①「お客様アンケート」を発送し、顧客のニーズに対応したサービスを提供する(アンケート実施予定日 R5/2月)	・3月実施「お客様アンケート」…依頼270・回答175(64.81%) ・給付型奨学金の募集(鹿島西部中5名、鹿島東部中1名・大浦中1名) (学費等の一部を給付して社会的に有能な人材を育成し、地域の活性化を図る) ・鹿島市へ、市民会館建設資金として寄付金200万円贈呈。	
4. 進捗状況の公表				
	①全体の取組み状況を年1回公表する。	①営業店内に掲示公表する。 ②ホームページにて公表する。 ③ディスクロージャー誌により公表する。	令和4年度の地域密着型金融の取り組みについては ・6月17日 営業店内に掲示公表した。 ・6月17日 ホームページ上に公表した。 ・7月29日 ディスクロージャー誌発刊。	

令和5年4月作成